

東京都議会議員 (荒川区)

がく

たきぐち学



一般質問の壇上に立つ/第3回定例会

9月21日に第3回定例会が開会。28日に代表質問が行われ、29日の一般質問では、私たきぐち学が、昨年3月に続き、2回目の一般質問の壇上に立ちました。質問項目は下記のとおり。

① 観光振興について

- (1) インバウンド推進～知事の見解～
- (2) シティーセールス～アジアからいかに呼び込むのか、欧米の「観光レップ」は?
- (3) スポーツ・ツーリズム
- (4) 都の航空政策、基本方針の見直し
- (5) 受入体制の整備(成田の玄関口は日暮里)

② 災害対策について

- (1) 木造密集地域対策(荒川区の大きな課題)
- (2) 土砂災害(都心部の危機感は希薄)

③ 中小企業支援について

- (1) 特許など知的財産保護(区内企業も苦悩)
- (2) 海外販路支援
- (3) 歴史的な円高への対策

(質問全文は、ブログにて掲載しています)

“観光”の経済効果を官民が共有すべき スポーツ・ツーリズムの推進を

私たきぐちは、都の「観光事業審議会」に所属しています。平成11年に約270万人だった訪日外国人は、22年に過去最高の約594万人に達しました。しかし、この度の東日本大震災で、観光産業は大打撃を受け、先般、審議会から特別提言が出されたところです。

観光は成長戦略の柱であり、ベストセラーとなった「デフレの正体」でも、日本経済活性化の

3つの策のひとつにインバウンド(外国人の訪日旅行)の推進を挙げており、「輸出だけによる経済活性化が行き詰った日本で、外国人相手の集客交流促進による“内需拡大”が国や経済界の戦略の一丁目一番地にあるべきだ」と指摘しています。訪日外国人の人数もさることながら、滞在日数や消費単価を上げて、観光収入の増加を図るべく「質」を高めることが重要です。訪日外国人の約6割を占める韓国、台湾、中国の3大市場への戦略的な観光予算の投下と、成長著しいアジアの潜在的市場からいかに呼び込むか。市場調査に基づいたシティーセールスの強化が不可欠です。

観光による経済効果を官民が共有し、海外からヒト・カネを呼び込むための戦略に官民が一体となって取り組むべきです。

また、「スポーツ」と「観光」というこれまで別の概念として認識されていた両者を意図的に融合させることで、今までにないスポーツ産業、観光産業の新しい収益構造を生み出すことを目指して、「スポーツ・ツーリズム」を提案、都も「極めて重要」との認識を示しました。



都政報告会～タウンミーティングを開催

8月29日(月)に6回目となる都政報告会を実施。奇しくも民主党代表選挙の日でした。

約70名の方にご出席いただき、議会報告を行うとともに、代表選挙に関して私の考えを述べ、質疑応答で活発な意見交換ができました。代表選挙では、決選投票の末、野田よしひこ代表が当選、第95代総理大臣が誕生しました。被災地の復興と山積する諸課題の克服に向けて、政権与党所属の地方議員として支えていかなければならないという想いと同時に、民主党が信頼を得るに値する政党となるべく、地方の立場から意見具申していかなければならないと考えています。

都政報告会では、代表選挙の在り方を変えるべきだと申し上げました。

- ① イギリスのように、政権与党時には代表の任期を定めるべきではないこと。
- ② 様々な要因で辞任する際には、一定の選挙期間を設け、党员・サポーターに選挙権を付与し、広く国民に向けて議論する機会を増やすこと。

また、できるマニフェストを進める。まずは、議員定数の削減に着手すべきです。

さらに、今後も想定される「ねじれ国会」で国会がストップしないための方策。例えば、予算に衆議院の優越が与えられていますが、予算関

連法案についての扱いをどうするのか？参議院の在り方はどうするのか？

こうした議会改革を前に進めることで、政権交代可能な政治の枠組みを定着させるようなルールづくりが急務だと考えます。

東京オリンピック招致について

2020年夏季五輪の東京招致が、都議会の大きなテーマとなっています。これまで、会派のオリンピック小委員会において様々な議論をしてきましたが、都議会民主党として五輪招致決議に賛成する方針を固めました。

東京オリンピックが開催されたのは昭和39年(1964年)です。昭和45年生まれの私は、映像でしか知りません。バブル崩壊以降、失われた10年、失われた20年などと言われ、私が政治を志してから、社会全体が縮小、内向きの雰囲気、将来への不安はあっても「夢」が語られることが少ないと感じています。戦後政治の弊害や陋習は徹底的に変えるべきですが、同時に夢や希望のある事業を興すことも政治の役割だという想いを抱いています。

何より、子どもたちに与える影響は大きいと考えています。2016年招致の無駄遣いは議会で指摘してきました。失敗を猛省した上で、招致の在り方や発信の方法、五輪の理念、プランを考えていかなければならないと考えます。

<たきぐち学事務所から>

8月11日に「都議会見学」を実施し、30名を超える方々にご参加いただきました。本会議場、予算委員会室、議長室、防災センターなどを見学し、都庁45階で食事をしました。今後も、都議会見学第二弾、新東京丸による東京湾視察、警視庁見学などを企画する予定です。ご希望の方は、ご案内をお送りしますので、たきぐち学事務所まで、ご住所などご連絡いただけたら幸いです。



都議会見学・本会議場にて

「都議会民主党の集い」ご案内

- 日時：平成23年11月25日(金)
午後6時開場、6時30分開演
- 開場：京王プラザホテル5階
コンコードボードルーム
新宿区西新宿2-2-1
- 会費：1万円
- お申込み：たきぐち学事務所

TEL:03-6382-8866 E-Mail:info@t-gaku.com